



シェレバングラ農科大学

Sher-e-Bangla Agricultural University



●学部・大学院生 2,500人

バングラデシュ人民共和国

ホームページ <http://www.sau.edu.bd/>

交流協定締結年月日：2010年5月10日 主管学部：農学部



交流協定調印式

国際交流の特色

シェレバングラ農科大学は、1938年に創設されたベンガル農業研究所（のちバングラデシュ農業研究所）を母体として、2001年に開学した農学系の大学で、バングラデシュの国立大学として、将来の発展が期待されている。シェレバングラはベンガル農業研究所の創設者であるSher-e-Bangla A. K. Fazlul Huq（Chief Minister of undivided Bengal）の名に由来している。2014年には、農学部およびアグリビジネス系学部のほかに新たに動物科学・獣医学部と水産学科を新設し、さらに、博士教育を立ち上げた。海外の大学、研究所との研究交流が活発である。キャンパス（35.22ha）は首都ダッカの中心部（国会議事堂をはじめとする新生の官庁区域に隣接）にあり、国際空港からは15kmと至近距離にある。

交流実績（平成27年度～29年度）

年度	H27	H28	H29
受入・派遣			
学生の受入	4	8	10
学生の派遣	0	0	0
研究者・職員の受入	1	2	2
研究者・職員の派遣	1	1	1



教員からの声

シェレバングラ農科大学の前身であるバングラデシュ農業研究所（BAI）は、教育機関としても多くの優秀な学生を輩出してきました。その卒業生を含めると私の研究室だけでも、2000年より7名の留学生を受け入れていることとなります。1人は博士取得後、フンボルト基金より研究給付を受けドイツで2年間過ごしたあと、現在はカナダで研究生活を送っています。もう1人は、同大学へ戻り、准教授として研究・教育に活躍しています。またもう1人は、母国の農業研究所で、上級研究員として活躍しています。現在在学している3人は、博士課程学生として勉学・研究に勤めています。どの学生も、目的意識が高く、自主性と国際感覚に富んでいます。本学とは2010年に交流協定を結びましたが、研究・教育を通して、人的交流が一層深まることを期待しています。

農学部教授 藤田 政之

学生からの声

私は2009年10月に来日し、連合農学研究所博士課程学生として藤田政之教授の指導により、植物ストレス応答学研究室で研究を行っています。香川大学の研究設備は優れていますので、私は研究の知識を伸ばすため、多くの研究経験をつもつと考えています。日本の人々は謙虚で暖かく、全てにおいて親切です。日本の自然は美しく感動的です。また、バングラデシュとは異なり、四季の変化がはっきりしていることも、興味深く思っています。私は本学の学生であることを誇りにし、これからも頑張りたいと思います。（2010年筆）

Hasanuzzaman Mirza